

# 納税証明書新デザインに関するQ & A

令和3年7月

国税庁

## 《 目 次 》

- 問1 いつから新デザインになったのですか・・・・・・・・・・ 1
- 問2 従来デザインの証明書との違いは何ですか（QRコードで何ができますか）・・・・・・・・・・ 1
- 問3 QRコードにはどのような情報が含まれていますか・・・・・・・・ 1
- 問4 レリーフ模様とはどのようなものですか・・・・・・・・・・ 2
- 問5 コピーチェック機能とはどのような機能ですか。・・・・・・・・ 2
- 問6 特殊潜像模様とはどのようなものですか・・・・・・・・・・ 3
- 問7 マイクロ文字とはどのようなものですか・・・・・・・・・・ 4

問1 いつから新デザインになったのですか。

[答]

令和3年7月1日（木）以降に税務署で発行する納税証明書から新デザインになっています。

なお、令和3年6月30日（水）までに発行された納税証明書は、旧デザインとなっていますが、旧デザインであることを理由に無効になるものではありません。

問2 旧デザインの証明書との違いは何ですか（QRコードで何ができますか）。

[答]

令和3年7月1日以降、税務署で発行される納税証明書（書面受取）は、デザインを変更し、証明書左下部に3つのQRコードを表示するデザインになりました。

※ 一部QRコードが表示されない証明書もあります。

同時に開始した電子納税証明書（PDF受取）も、QRコードが表示された同様のデザインとなります。

QRコードが表示された納税証明書は、スキャナ等でPDF形式にすることで、必要に応じて「QRコード付納税証明書確認コーナー」で、証明内容の真正性を確認することができます。

問3 QRコードにはどのような情報が含まれていますか。

[答]

納税証明書左下部の3つのQRコードには、次のような情報等が含まれますが、特殊な暗号化処理が施されていますので、「QRコード付納税証明書確認コーナー」以外で、その内容を確認することはできません（スマートフォン等

のカメラ機能で読み取っても内容を確認することはできません。)

- ・住所（納税地）、氏名（名称）
- ・証明書の種類、税目、事業年度（年度）
- ・証明内容（申告額、納付済額、未納税額、備考等）
- ・証明番号、証明日、証明者

また、QRコードには、マイナンバーや法人番号など、納税証明書の記載事項以外の情報は一切含まれておりませんが、上記個人情報等を含んでおりますので、取扱いには十分ご注意ください。

問4 レリーフ模様はどのようなものですか。

[答]

複数の画線で構成されており、画線の起伏によって、図形や文字等をレリーフ（浮き彫り）状に表現する技術です。

レリーフ模様は、特別な道具を使用しなくても、肉眼だけで判別（判読）できます。

問5 コピーチェック機能とはどのような機能ですか。

[答]

納税証明書（書面受取）をモノクロコピー機でコピーを行った場合に、納税証明書（コピー）の右上部に「複写」の文字を表示し、書面がコピーであることを分かりやすくする仕組みです。

納税証明書（コピー）は、上部及び下部の背景（グレー部分）の色が抜けて白く変化します。

(さらに、はじめから「複写」の文字が見えているようですが問題ありませんか。)

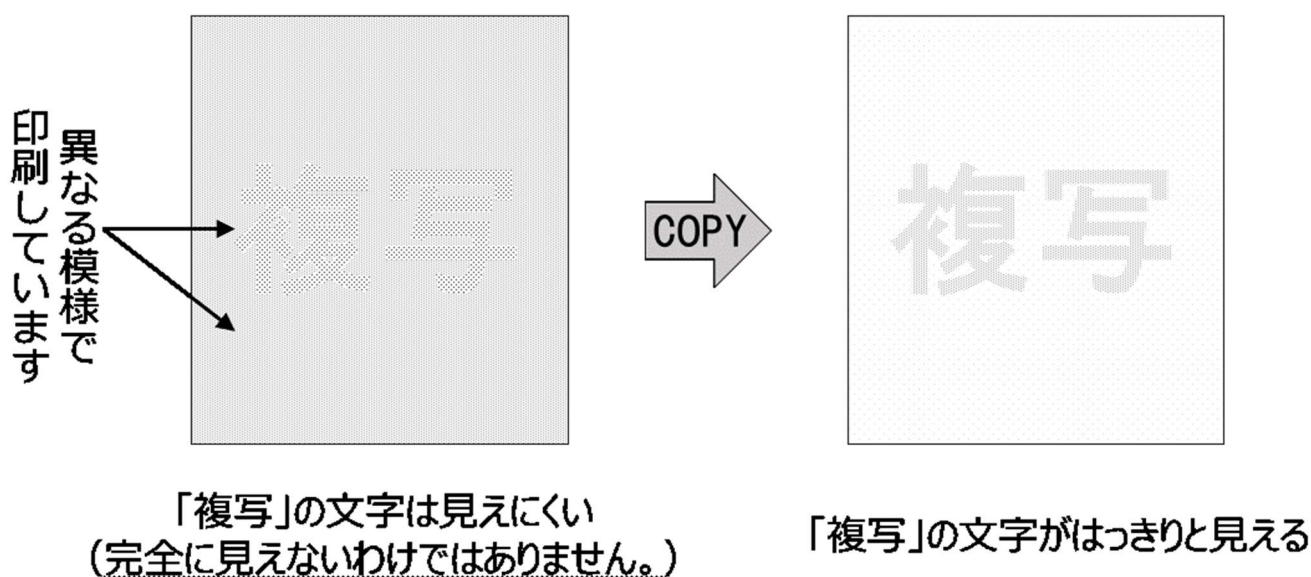
[答]

コピーチェックは、「複写」の文字を背景とは異なる模様で印刷し、「複写」の文字を背景に溶け込ませる仕組みですので、「複写」の文字が完全に見えなくなるわけではありません。

コピーを取ることで、鮮明に「複写」の文字が現れるようになります。

## コピーチェックのイメージ

→コピーすると「複写」の文字が目立つようになります



問6 特殊潜像模様とはどのようなものですか。

[答]

線と点によるパターンで構成された特殊な模様です。

納税証明書の左上部にある「国税庁のマーク」の上にレンチキュラーレンズ(60Lpi)を重ねると、それまで見えていた模様が変わって潜像模様が発現します。

なお、レンチキュラーレンズの重ねる方向を縦と横に変えることで、それぞれ「国税」と「NTA」の文字を確認することができます。

(さらに、レンチキュラーレンズとは何ですか。)

[答]

レンチキュラーレンズとは、表面がでこぼこした、特殊なシートで、特殊潜像模様（納税証明書の左上部にある「国税庁のマーク」）に隠れた文字を確認することができます。

インターネット等で市販されていますので、必要に応じて、60Lpi規格のものをお求めください。

問7 マイクロ文字とはどのような機能ですか。

[答]

マイクロ文字とは、ごく微小な文字を線部や図柄の一部などに入れ込む技術です。

納税証明書は、複数箇所マイクロ文字を入れることで、偽造や変造を防止しています。